サポート情報記事

ポリシーをアーカイブし、下書きとして復元する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

最初に影響を確認する 4

ポリシーをアーカイブする 4

キャンペーンと割り当てを別途確認する 5

カードを下書きとして復元する 5

変更の完了を検証する 6

通常の公開済みカタログに表示する必要がなくなったポリシーはアーカイブします。これによりポリシーカードのライフサイクル状態が変わります。データ削除、保持、割り当ての取り消し、権限の削除を行う操作ではありません。状態を変更する前に、既存の作業をどう扱うかを決めてください。

最初に影響を確認する

管理アクセスを持つ管理者、コンプライアンスマネージャー、または所有者としてカードを開きます。現在のバージョン、アクティブなキャンペーン、未完了の割り当て、関連する受領書を確認します。別のポリシーで置き換える場合は、置換キャンペーンで使用するカードとバージョンを記録します。

アーカイブによってソースドキュメントが非表示になるとは考えないでください。ソースは設定されたURLに独自の権限を保持したまま残ります。既存の証跡とバージョンファイルも、それぞれの保存場所に残ります。

ポリシーをアーカイブする

1 Policy Managerで対象のポリシーを選択し、タイトルと現在のバージョンを確認します。
2 アーカイブを選択します。この操作は状態変更を直接適用します。現在のインターフェイスに別の確認ワークフローはありません。
3 カードが既定のビューから消えた場合は、ポリシーの状態フィルターをアーカイブ済みまたはすべてのステータスに変更します。
4 アーカイブ済み状態を確認し、ライブラリと管理ページでポリシーを確認します。

ライブラリは公開済みとレビュー中のポリシーを読み込むため、アーカイブ済みカードはカタログに含まれなくなります。アーカイブ済みカードの公開操作と新規キャンペーン操作は無効になります。これらのUI上の変化によってバージョン履歴が消去されるわけではありません。



アーカイブ済みカードは引き続き管理できる

キャンペーンと割り当てを別途確認する

アーカイブはポリシーの状態を変更する操作で、キャンペーンを自動停止したり、割り当てを取り消し済みにしたり、確認記録を削除したりはしません。キャンペーンの停止自体が別の操作であり、KB10523. ポリシーキャンペーンを監視して停止する方法に説明されている独自の制限があります。

My Policiesは割り当てに基づいて動作し、リーダーへの直接リンクも識別子でポリシーを読み込めます。そのため、アーカイブ後も古い割り当てが表示またはアクセス可能な場合があります。ポリシーが公開済みポリシーのマトリックスに表示されなくなっても、レポートビューに割り当て行が含まれる場合もあります。アーカイブをアクセス制御の境界として使わず、従業員画面とレポートの実際の動作を確認してください。

警告

未完了の割り当てを解決する近道として、基盤となるリスト、証跡レコード、ソースファイルを削除しないでください。アーカイブはライフサイクルのラベルであり、完全な撤回ワークフローではありません。現在の制御機能を超える撤回や保持の保証が必要な組織では、コンテンツを利用できなくする前に、サポートされる手順を合意してください。

カードを下書きとして復元する

アーカイブ済みポリシーを選択して**ポリシーをドラフトとして復元する**を選びます。状態が下書きになったことを確認し、フィルターを調整して表示します。復元しても、現在のバージョン、以前のキャンペーン、過去の証跡はクリアされません。そのため、完全に新しい空の項目としてではなく、既存のポリシーとしてカードをレビューしてください。

所有者、ソース、閲覧条件、日付、履歴を確認します。通常の再配布の前に適切な新しいバージョンを公開し、目的のキャンペーンを設定します。以前の現行バージョンの値が残る場合があるため、復元したカードでキャンペーン操作が利用可能に見えるかどうかだけで準備完了と判断しないでください。

変更の完了を検証する

ポリシーの状態、ライブラリでの表示、代表的な従業員の割り当てを確認します。保持された履歴を権限のあるユーザーが引き続き利用できることと、置換または復元したポリシーの公開と配布が意図した経路にあることを確認します。履歴の確認にはKB10515. ポリシーのバージョン履歴とドキュメントスナップショットを確認する方法、再公開にはKB10514. ポリシーの新しいバージョンを公開して確認を再度依頼する方法を使用してください。